

第12回波賀中学校区 幼保一元化に係る地域の委員会

と き：平成28年9月29日（木）午後7時30分～

ところ：波賀市民局 2階第2会議室

発言者	議題・発言内容
事務局 会長	<p><開会のあいさつ></p> <p>こんばんは。大変お忙しい中、出席いただきありがとうございます。</p> <p>幼保一元化の委員会は12回目を迎えています。前回7月には役員の交代もありまして、引継ぎという形で行いましたが、その中で市内一斉に公募をするというような話もあり、どのような形にするのか決まらないまま終わりました。この委員会も平成24年に立ち上がり、2年ほど期間があつて昨年から再開をしているところですが、4年が経過しています。その中で、子どもの数もどんどん減ってきて、少なくなっています。あまり余裕があるような形ではないと思っています。これまで色々と話をしてきました。一度原点に戻り本来の、運営のあり方と、実施の時期、実施の場所、これらについて、これまでの意見を踏まえて、一つ一つ課題を整理しながらこの委員会を始めたいと思っています。今日は、市の方向もだんだん変わってきているようですので、それらも併せて説明を受けながら、課題を整理して、あまりずるずると引き延ばさないようにしていきたいと思っておりますので、皆さんご協力をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>皆さん改めましてこんばんは。本日は夜分お疲れの中、本年度第2回目の波賀地域の委員会にお集まりいただいたこと、お礼を申し上げます。ありがとうございます。波賀の幼保一元化につきましては、7月26日に今年度第1回目の委員会を開催させていただきました。その中でも急激な少子化、3歳児教育の実施、施設の改修ということで、市内で一斉に社会福祉法人を公募したいという意見を出しましたところ、第1回の中では、まだ不安が解消されていないために進めない、更には、初めて聞いたことなので待つ欲しい等々の意見をいただきまして、検討するというので持ち帰らせていただきました。教育委員会では、法人の選定をどうするか、地域の要望をどう反映するか、これにつきまして検討を行う間、市内一斉で公募をする予定としていましたが、延期をしているという状況であります。このことにつきましては、この後具体的に詳しく説明させていただきます。この波賀地域におきましても、他の地域でも同様ですが、非常に急激に子ども達が減って、少子化が進んでいるという中で、子ども達を育てる環境に責任を持つ立場の市としましては、このまま無責任である訳にはいけないと考えております。集団での子育て、保育、幼児教育の環境を作るということは、地域の活性化や魅力につながっていくのではないかと考</p>

事務局	<p>えております。本委員会でも以前に「幼保一元化は推進すべきことである」、「問題点を整理し、解決に向け協議すること」等の文書をいただきまして、運営法人を募集することは、それに沿うものであると考えていた訳ですが、市内で同じ保育、教育の環境を作ること、それが、幼保一元化を進めていくことであると考えています。本日は、委員様から色々な意見があると思いますが、波賀の保育、幼児教育について、何が最善なのかということにつきまして、たくさんの意見、議論をしていただきまして、前に進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。それでは協議事項に入らせていただきます。協議事項につきましては、上田会長に進行をお願いします。</p>
会長	<p>協議事項に入らせていただきます。最初、資料に基づいて説明をお願いします。</p>
事務局	<p><資料の5項目についての説明></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 少子化の現状について (2) 公私連携による認定こども園の運営について (3) 認定こども園開設に向けた今後の協議について (4) 平成26年9月25日付地域の委員会協議結果について (5) 運営法人の公募について
会長	<p>説明がありましたが、何か分からない点など、質問等がありましたら先に受けたいと思いますのでお願いします。</p> <p>ないようですので、平成26年9月25日に前会長から委員会についての協議結果が出ておりますが、1番目の「波賀中学校の幼保一元化は推進すべきであること」ということは、前回の委員会でも推進はしていかなければいけないとなっており、これについての異議は特にないと思いますが、何かご意見があればお願いします。</p>
委員	<p>中学校区の幼保一元化の推進についてですが、波賀幼稚園としましては、ここ2、3年の話ではないという想いで、前回も申し上げましたし、波賀幼稚園でもう一度話し合った結果、やはり、現時点ではその段階ではないのではないか、選択肢のある現状、波賀幼稚園と保育園がある2園体制を望むという声が波賀幼稚園のPTAではあったので、進める、進めないにしても、もう一度検討して欲しいという想いがあります。</p>
会長	<p>ちょっと聞かせていただきたいのですが、3年後には4割減るという前提の中で、先程も説明がありましたが、協議会を立ち上げたとしても2～3年はかかるので、いつまでも2園体制をとっていいのか、また、いつするのかというバランスも一度考えていただきたい。教育委員会の方で付け加えることがあればお願いします。</p>

事務局	<p>先程も言いましたように、3年後には4割減って38人になるということが、住民基本台帳上分かっております。この中で、今と同じような割合であれば、3分の1が幼稚園に行くとするれば、13人から14人となります。また、小クラスになると適正な集団を求めて移動されるというケースも他の地域で出ています。人数が減ってくると更に小クラス化になるということが、表れてきたという例もあります。そういうことも波賀の幼稚園では出てくる恐れは充分あります。3年後には13人、14人ということが見えておりますので、待ったなしの時期ではないかと考えております。</p>
委員	<p>幼稚園の意見として、前回の委員会から3回程保護者会を開いて、一人ひとり全員意見を言ってもらったのですが、本当に今からお子さんが生まれる方もいらっしゃるの、その方達も含めて、全員意見を言ってもらった結果、委員が言われた結果になったのです。今言われた時期のことなのですが、2点意見として追加で出たことがありまして、1点目は、幼児教育において人数が多いから良いとか、少ないから悪いとは思わないという意見で、特に波賀幼稚園であれば、野尻幼稚園での実績があるので、人数が少なくなっても、少ないなりの利点を活かした創意工夫がされた教育がしていただけるのではないかという意見が出ました。もう1つは、こども園の良さが見えてこないということです。中身が全然見えてこないまま進んでしまっっては、安心して通わせるような園ができるのかという不安があるということで、出来てしまっっては、2園を残しておけば良かったと、後戻りはできないので、もっともっと中身を示していただきたいと思います。今日の資料の中でも、メリットデメリットを見せてもらったけれど、もっと明確に良さが伝わる資料があれば、私達も幼稚園に持ち帰って保護者の方に説明して、どうしますかということもできると思うのですが、それなりの資料がないので、そんな中、進めるという風にはできないというのが保護者の意見です。</p>
事務局	<p>同じようなことになるかもしれませんが、少人数の良さというのは確かにあると思います。先生の目が届くということで子ども達も非常に安心すると思います。しかしながら、保護者の中には集団を望まれている方も、他の地域ではありました。幼稚園の少子化が急に進んだという地域もありました。少人数の良さを否定している訳ではありませんが、やはり適正な集団があります。教育委員会としては集団の中でたくましく育て欲しいという想いがあります。また、こども園の不安というのは、ずっと聞いております。教育委員会が説明しただけでは分からないということは、ごもっともです。そういうところから、不安を解消してもらうためには、実際に具体的な経営方針、幼児教育、保育について、運営主体の方から説明がな</p>

委員	<p>いとなかなか難しいのではないかとということで、市内一斉の公募をして各地域で説明して行きたいと考えているところです。</p> <p>その辺りも幼稚園で、2人、3人になるかもしれないということで話もしました。やはり、中身が見えて、これだったら波賀町でいい園ができるという確約があってからでないと、お願いしますという話にはできないと保護者の方とみんなで確認しました。1つ質問ですが、千種が実際に出来て、課題も出てきていると思います。その課題と、課題に対してどのように対処されているのかということをお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>千種の運営の中で出てきた課題について、最初にお聞きしたのが、幼稚園と保育園の子どもが同居するこども園ですので、保育園の子どもがお昼を過ぎると午睡をする訳ですが、幼稚園の保護者が子どもを迎えに来る時に、担任の先生と話をする時間がじっくり取れないという話は聞かせていただきました。そのことにつきましては、保護者会の会長、役員と直接お会いして話をさせていただきましたが、それはこども園の特性で子どもと一緒に居るので、話の時間については広い園舎ですから、どこでも時間を取って話ができる訳なので、気兼ねなく先生に相談していただければ結構ですということで話をさせていただいています。それから、園でどのような催しが行われているかということが、なかなか見えてこないという課題もいただきました。極力園だより等を活用して園の中の様子を皆さんに伝える方法を工夫しているところです。それから幼稚園では保護者の、特にお母さん方がご家庭にいらっしゃるので、平日の昼間の参観等の行事があったけれど、それが少なくなっていますという課題もいただいた訳ですが、その件については、逆にもともと保育園の方で、夫婦共働きで平日の昼間園の方に行くのが難しいという保護者が多かった訳でもありますので、その辺りも極力保護者会で、旧幼稚園、旧保育園の代表の方が両方居られる中で、工夫をしていきたいと思いますということで、今は、調整をさせていただいているという風に理解をしています。検証については3月と5月に運営協議会を開いて確認をさせていただいたところですが、教育委員会との懇談については、保護者会を代表する会長からは、一つ一つつないでいただいておりますので、園と会話ができているので、保護者の方から声をかけるまでは大丈夫ですというご意見をいただいております。事務局としましては、課題は色々あると思いますが、一つ一つの解決に向けて、園と保護者との間で運営をしていただいていると理解しています。</p>
委員 事務局	<p>実際参観日とかはどんな感じでされているのですか。</p> <p>幼稚園だと毎月1回はあったと思うのですが、毎月かどうかは確認が取れていませんが、千種の場合、地域を挙げて、園・幼・小・中・高の連携を</p>

<p>委員</p>	<p>されていますので、その中で、6月にはオープンスクールのような形であったのと、7月には夕涼み会がありました。8月は幼稚園部が夏休みですので、行事は入れておられませんでした。5月には総会があったり、9月が運動会、11月には幼稚園では幼稚園ウィークと言いますが、同じように小中学校のオープンスクールに合わせてこども園ウィークをされるということは聞いています。幼稚園が毎月あったことに対して、毎月ということはないという風に聞いています。</p> <p>あと2ついいですか。園舎で午睡している間、担任と話をする機会が少ないということで、園舎の違うところで話をすることですが、幼稚園なら話をしている間、自由に、1日終わったという感じで遊んでいます。寝ている子がいるから静かにしないといけないとか、その辺り、こどもはどのように待っているのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>保護者の方が話をしている間ですが、幼稚園部の子もバスを利用して通園している子がだいぶいて、徒歩で通園しているのが、主に5歳児で、バスも何便か入れ替わりがあるので、元の自分達の保育室で遊んで待っているようです。保育室で遊んで待っている間に、お迎えに来られた時に、先日は玄関で対応されていました。あと、奥の方に会議室もありますので、込み入った話や、じっくりと相談されたい方は、そちらの方も利用されていると園長先生から聞いています。</p>
<p>委員</p>	<p>もう1点ですが、実際、夏休みが明けてみて、幼稚園部の子は休みで、保育園部の子はずっと行っているし、9月に入って、子ども達の様子を聞かせてもらえますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>詳しくは聞いていませんが、運動会の練習をされている時のことですが、小学校と合同の運動会をされますので、2学期が始まると、他の合同運動会をしている幼稚園と同じような状態で、幼稚園部の子も保育園部の子もすぐに運動会の練習を始めていますということでした。9月10日頃に見学に行かせていただいた時に、その日から小学校の方で合同練習が始まるということで、少し年齢の低い子で夏休みだったお子さんは、ちょっとぐずって、幼稚園の子と同じだと思いますが、3歳児の子は少し登園の時に泣いた子もいるけれど、すぐに運動会の練習を楽しみに通園できるようになっていますとお聞きしました。</p>
<p>事務局</p>	<p>その辺りが、千種の2年にわたる協議の中でも大きな課題でもありまして、3～5歳児につきましては、年齢ごとに幼稚園と保育園に関わらずに同じクラス編成にして、同じ担任の先生にするということでスタートしておりまして、例えば、1つの絵を仕上げるという作業があったとして、午前中の子どもはお昼で帰る訳です。すると、午後の子は時間がありますの</p>

	<p>で、その絵の続きをしてしまうと、次の日授業を再開する時に、幼稚園と保育園の子で進み具合が違うということがありますので、午前中のプログラムと、午後の保育の部分とは切り離すということが一つの考え方であり、切り離すというのは、他のこども園では、担任の先生がそこにいらっしゃるの、午後も引き続き担任のクラスの子どもですから、保育をするということが基本だと思うのですが、千種では午後は、あずかりに切り替えるということで、担任の先生が関わってやるのは、午前中のプログラムのみで、給食を挟んで降園の時間までは担任の先生がついている訳ですが、その後、午後の保育の部分については、担任とは別のあずかりの先生を充てるということで、担任の先生については、今の幼稚園と同じように次の授業の準備や、そういう時間が取れるように、午後からは子どもの人数が少し減りますので、その部分については合同保育ということで、クラスの進め方については、幼稚園児と保育園児に差異がないように進めていこうということで園の運営を図っていただいています。</p>
委員	<p><認定こども園の詳しい姿が見えてこないというところで、補足の説明> 私が質問したような細かいところを、保護者としては気になるので、先程説明もしていただきましたのですが、もっと細かいプログラムの内容のこととか、あずかりに切り替えた後の様子とか、夏休みはこんな感じで過ごして、夏休み明けたらこういう風になっているとか、細かい内容が見えるものを、例えば次回までに示していただいて、私達もそれを幼稚園に持ち帰って議論することができるし、次に進もうかということにもなるので、そこをお願いしたいです。</p>
事務局	<p>細かい、具体的な提案というところは、委員会ではなく、幼保一元化の協議会になりまして、運営主体が決まって、それから色々と協議を積み重ねて、望ましいこども園を作っていきたいという、そんな進行を市の方では考えています。幼保一元化の協議会にまず入っていただきたいというのが市の進め方です。</p>
委員	<p>今、丁寧に説明していただきましたのですが、現場ではないから見えてこないのです。いっぱい言われても、この目で確かめていないので、本当に親の気持ちとか、こども達の様子とか、先生達の様子とか、栄養士さんの様子とか、そういうのが本当に私は見えてこなかったです。そういうのを見せていただいてから進めていきたいと思います。協議会がスタートする以前にそれを見せて欲しい。</p>
事務局	<p>その辺りは、昨年、ちくさ杉の子こども園視察ということで、私としましても一緒に見ていただきたいという想いで、計画し、開かせていただいたのですが、確かに現場で時間がなかったり、時間帯の関係で、園長の話も</p>

	<p>ゆっくり聞けなかったし、センターちくさで、保護者の代表の方と懇談をしていただいて帰ってきたということがあって、その時には、どういう保育をやっているかというところは、園要覧や実際に子どもの姿を見ていただいてということと、資料がない状態で口頭により説明させていただいたのをもう少し詳しい資料も付させていただいて、昨年はさせていただいたつもりです。できましたら、もう一度ちくさのこども園を見ていただき、こちらに説明をさせていただく機会をもう一度与えていただければありがたいと思います。</p>
委 員	<p>先程事務局から協議会に移らせていただきたいと言われましたが、前回の会議では先に公募をしたいという話が出ていますよね。それで、前回の会議で我々も反対をしまして、その後の経過説明が全くないので、最初に質問すれば良かったのかもしれませんが、公募を取りやめたということ聞きまして、市内一斉に取りやめた理由や経緯の説明をお願いしたい。</p>
会 長	<p>今、幼保一元化の前回の協議結果 1 番目の推進すべきということの確認を先にしたいので、その後に説明を受けたいと思います。協議を進めていく中で色々な課題も出てくると思うので、ある程度の方向性を決めないと次に進めないと思います。新しいものを作る時には、誰でも不安はいっぱいあると思います。しかし、それを一つ一つ解決して一歩出なければ進まない。オリンピックで例えると、ルール改正があってもそれに乗らなければ大会に出られないという風に、ある程度の流れの中でそれをどうするかという次の段階に行かないと行ったりきたりで進まない。先程のことも大変重要な意見なのですが、まず幼保一元化を推進することについて、いつするかは別の議論になると思いますが、このまま 2 園で行きましょうという形、その時期が来たら考えたらいいと、そこまで引き延ばすのか、推進はする必要があるが時期は次の段階で考えるという部分で整理をしていきたい。</p>
委 員	<p>推進するべきであるかとは思いますが、今、幼稚園の保護者の方が言われたように、不安があるのに前に進めないと思います。心配事は協議会の方で話し合ってもっと細かいことは決めて行きましょうと言われましたが、すごく大切なところだと思います。了解が得られる部分をもう少し保護者の方に説明して、そこが納得できれば推進するということにもなると思いますが、子どもの人数が少なくなっているのはすごく分かっているけれど、こども園に不安があると思います。そこを、協議会で話し合いますではなく、丁寧に説明してもらいたいと思います。心配事を軽減してからでないと進めないと思います。</p>
会 長	<p>そういう部分は、ここで意見を出してもらえば、対応してもらえると</p>

副会長	<p>ます。</p> <p>今日は、教育長も来られていますし、実は先般、自治会長と副市長と懇談で話をしました。最終的には前会長の3項目の部分でスタート地点の整理をしてくださいということでした。幼稚園の方が言われることはよく分かるし、もっと当局が、今言われたことも含めて説明責任を果たすべきだと思います。一生懸命説明しても伝わらないのは、机上の話だからであり、この話も進めていかなければいけないが、先程の話の中で、公募が前回の会議で初めて説明された。それで公募はしなくて延び延びになっている。その辺も含めて背景を説明すべき、波賀の問題だけではなく、一宮も山崎も含めて、どういう風な背景でそれが延びているのかということ、波賀だけが悪者で、波賀のせいで公募が延びたように捉えられる。その辺りいかがですか。</p>
会長 事務局	<p>委員の意見と併せて、公募の経緯を説明願います。</p> <p>公募は、前回波賀で提案したのが初めてでした。そこで、公募をして色々な意見を言ってもらい、判断をしていただくという抽象的な言い方だったかもしれません。運営法人に対して、良いか悪いかを自分達が言うのかということや、委員会で意見を出すのは難しいという、選定の方法についての意見が一番多かったと思います。それを今後どのように市内に広げていくかということ、やはり選定委員会を市で開設しまして、そこへ地域の方に入っていただき、その中でガイドラインに沿った審議をするということで、今考えています。選定方法を詰めることに時間がかかっているということが公募を止めている一番の理由となっています。前回、提案が急すぎたということもありまして、みなさんの同意がなかったところもありますが、それはもう少し丁寧に説明をしていく必要があります。一宮北、南につきましても提案しながら公募していくことが必要と思っています。山崎につきましても、委員会が設立されておりませんが、一宮、波賀と同時にやっていきたいと考えております。</p>
副会長	<p>これまでの話し合いで全然進んでいない状況で、今言われたように、公募はするということですか。公募するにあたり、その公募者を誰が何処で吟味して、どこでチェックするのですか。ということで考えていただきたいのですが、千種へ私も行きました。それで協議会の会長をされていた方が色々な話をされましたが、同席された保護者の方は、保護者と園との距離がだいぶできたとか、幼稚園から見たら色々なデメリット的な話もありましたので、みんなが頑張っとうるやろうと思えるように、もう少し説得力のある説明が必要だと考えます。進めていかないといけないと思うが、2年3年とかかかっているうちに、今の委員さんも代わって関われない立場になる</p>

	<p>でしょう。幼児教育だけではなく、今、宍粟市の人口が 3 万 9 千人程度で、波賀町が 3,800 人ぐらいです。子どもだけではなく、成人も高齢者もそれと同じように減っていきます。それに対して市が、どういう風な幼児教育を安心して提供してもらえるかという、説得力のある説明が必要だと思います。</p>
会 長	<p>公募の経緯について説明がありましたが、何か他に質問があればお願いします。</p>
委 員	<p>教育委員会にお聞きしたいのですが、山崎の方ではまだ委員会が立ち上がっていないと言われましたが、山崎で見かけましたが、みのり保育園がバスに「こども園」と書かれていたのですが、こども園になっているのですか。</p>
事務局 委 員	<p>なっています。 こども園になるためには、資料では地域の同意があって推進すると書いてあったと思いますが、1 箇所だけ既に決まったということのいきさつはどういうことでしょうか。これから先、そういうことが起こるのであれば、知らない間になっていたでは困る。不思議な気持ちでバスを見ました。</p>
事務局	<p>まず、こども園については、平成 18 年に認定こども園法という法律が出来て、従来ですと幼稚園と保育所しかなかったところへ、こども園という第 3 の選択肢ができました。それを受けて宍粟市でも平成 21 年に幼保一元化という計画で進めていこうということになりました。みのり保育園については、平成 20 年に新園舎を建てられて、園舎の面積に余裕があるため幼稚園を始めたいということで、従来の考え方の中では、幼保一元化ですから宍粟市の中には私立の幼稚園がありませんので、公立の幼稚園と公立の保育所と私立の保育園との組み合わせで施設を統合していこうという計画を作り地域に説明をしているところですが、今回のみのり保育園の認定こども園化というのは、あくまでみのり保育園が認定こども園という法的に定められたものに、独自にしたいというところで申請が上がってきました。そして、法の設置基準に照らし合わせて、問題がないということで認可がされたということです。山崎の菅野地域は、山崎西小学校区になる訳ですが、公立の幼稚園としましては菅野幼稚園が近くにあります。この地域におきましても地域の委員会におきまして、幼保一元化を推進していくこととなります。宍粟市が考える幼保一元化によって出来上がった認定こども園は、千種の 1 園でありまして、みのり保育園が認定こども園になったことについては、ここで協議していただいています幼保一元化計画に基づいたものではないと分けて判断をさせていただいています。</p>
事務局	<p>国がこども園化を進めていることで、希望があるところで条件を整えば認</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>めるべきという方針が影響しています。 そういう申請をすれば、こども園に出来ることは出来るのですね。 制度として確立されていますので、必要性があるかどうかということは、市の方で判断させていただくことになります。平成 27 年 4 月 1 日に子ども・子育て支援法という法律が施行され、それぞれの地域で保育と幼児教育を必要としている子どもに合わせた施設の整備を図らなければいけないことになっているので、例えば、この波賀の地域では、保育所も幼稚園も定員割れをしているような所で、新たに第 3 の選択肢として認定こども園の設置をするということになりますと、そのニーズだけの需要と供給のバランスがあいませんで、この地域では、公立の幼稚園が認定こども園になるのは難しいし、社会福祉法人が認定こども園になることも難しい状況という風に考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>結局、認定こども園には変わらないですよ。それでしたら、その様子も聞かせていただければ、よりこども園のことが理解できるのではないのでしょうか。4 月から今まで 1 回も聞いたことがなかったので、保護者としては参考の 1 例になると思います。</p>
<p>事務局 事務局 事務局</p>	<p>幼稚園部が少ないということがあって、今のところ 3 人です。 3,4,5 歳児それぞれ 5 名で定員 15 名の園になります。 今年度は募集の時期が遅かったこともあって、幼稚園部が少なかったのかもしれません。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>実施の場所は、まだ今から決まるのですよね。建物は市が建てるのですか。その辺りも色々な方法があるという風に思っています。社会福祉法人が建設されるという方法もありますし、千種のように市が建設し民間に貸し出すという方法もあります。</p>
<p>委員 事務局 委員</p>	<p>社会福祉法人がするのではなくて、市がするという条件で賛成する場合がありますよね。 それをこの場に図らせていただいているところです。 話が戻りますが、公募を中止にされた経緯についてももう少し詳しい内容を聞きたいと思ったのですが、波賀で反対があったから、最初は波賀だけずらして公募をすと言われていたけれど、蓋を開けてみれば、どこも停止している。波賀が反対したから他の所も反対されるだろうということで取りやめたのか、内容検討が甘かったから、事務局側の不手際があったため公募を止めたという表現がありました。そういう状況で、こちらが反対していなければ、深く検討されていない中で公募を進めようとされていたのが気になります。公募を正式に取りやめられた理由をきっちり聞かせてください。もし今も公募を考えられていて、先に公募をされる予定な</p>

副会長	ら、それがいつなのかを正式にお答えいただきたい。
事務局	6月の新聞で公募をするとオープンになっている訳で、7月の委員会でそれを8月にすると説明され、新聞では今年中にすると書いてあった。それは市のそれなりのスケジュールの中での新聞報道だと思う。どう返事されるかわかりませんが。
事務局	短い言葉で言いますと、新聞報道があったように今年中に公募に踏み切りたいと、山崎のこともありますし、社会福祉法人も手を挙げたいけれど、前に行けない状況で、話をさせていただく中で公募に踏み切ろうと思ひ、期間もある程度このあたりかなと決めていたが、7月にこの委員会をして、公募については時期尚早であるというご意見や、聞いていなかったという意見を色々聞きました。去年の段階では委員会の意見をしっかりと聞こうとしていたのに、正直私達はその部分で配慮がぬかっていたということです。ですからここで公募について、もう一度説明させていただいた後に、公募に踏み切りたいということで、その時期はまだ民間とも市長とも相談していませんので、そういう状況であったということです。みなさんにきっちり説明させていただいてからでないといけないので、そのことも含めて説明させていただこうと思っています。波賀の委員会が反対だったから止めているという訳ではありません。
事務局	確かに前回の会議の時には、一つの方法として、波賀を除いて公募をさせていただくということも考えた訳ですが、その後の協議について、それぞれ地域ごとに公募ではなく、宍粟市内を一斉に、保育所運営の実績がある法人という、8つの民間の保育園と2つのこども園がある訳ですが、そこを対象に1地区、どこでも参加していただける平等な観点で公募を進めようという趣旨から考えると、波賀だけ除いて公募を進めるということは望ましくない。平成21年から計画が始まって7年が経過している今、慌てて市の方針で波賀を除いて公募をして、では波賀はいつしますかというよりも、丁寧に話を進めた方がいいのではないかという判断ですので、決して波賀の協議結果で他の地域が止まっているという訳ではありません。
会 長	結局、市内一斉という公募に枠がある限り、ここである程度の方向性を出さなければ、他の地区の状況は分からないですが、もし早くして欲しいという地域があるとすれば、ここが足を引っ張っているということになる。なかなか決まらない場合の対策は何かありますか。
委 員	早くして欲しいなら、既に委員会が立ち上がっているべきで、波賀が足を引っ張るということではない。それが本来の委員会の形だと思います。
会 長	それが、スタンスが変わってきているので、先に説明を受けたい。
委 員	山崎町では委員会も立ち上がっていないのに一斉に公募するということ

事務局	<p>は、どういう風に進められるのですか。一宮北の方はもう協議会が立ち上がっていると聞いているので、一足先に公募もあり得るけれど、一斉公募の流れの中で、波賀は公募をストップして欲しいという思いの中で、意見を言ったので、ある意味良かったかなと思ったのですが、山崎では、もしそのまま公募されていたら、委員会は立ち上がっていないのに、地域の方はどういう風に捉えられるのかなと思います。そういうことを全て含めて、一貫性がないのが一つの不安の材料でもあるのと、もう一つは、去年の会でもかなり言いましたが、波賀に関して公立でしてもらうことは可能ですか。幼保一元化を推進することの中に、公立も視野に入れるという考えはありますか。波賀に関しては、民間があるから公立はあり得ないと言われてたり、それも不安の一つになっている。杉の子さんについては、社福でされていますが、これから、宍粟市内では公立が絶対になのか、あるいは公立もあるのであれば、波賀町はこれから人数が少なくなるということで不安もあったり、色んな想いがあると思いますが、その流れで2種選択をしたいという中には、教育委員会がされていた公立の幼児教育の想いから言われているので、波賀で公立があり得るのかを聞いても、教育委員会からは一度も応えがないので、公募に踏み切れないということもあると思います。幼稚園が一つになるので、保護者が不安だと言われているのはそういう部分だと思います。</p> <p>市内一斉に公募をして法人を決めるということは、委員会のあるところ、ないところで一貫性がないのではと言われたと思います。それについては、確かにやり方として違っているところがあると思います。地域の委員会で運営のあり方を決めるという部分が飛んでしまう訳ですが、それは運営法人、運営主体を選定してから地域に入って行こうとするもので、幼保一元化の協議会から始めるというものです。委員会がない地域ではそれも可能と考えます。それは市内で同じような幼児保育の進捗をすることが求められます。3歳児保育、就労支援においても、市としては認定こども園を進めるということから、市内統一で進めたいということから、山崎では委員会を設立しないところも出てくると思っております。また、波賀では公立はないのかという意見ですが、前にも説明しましたが、公募をして応募がない場合、また、選定委員会で好ましくないと判断された場合は、最終的に市が責任を持つということになります。その場合は、公立ということも考えられるということです。それから市内一斉の公募について、波賀はまだそこまでいっていないと思われるかもしれませんが、平成26年9月の協議結果、これをもう一度考えていただきたいと思います。幼保一元化を推進すべきということと、早期に3歳児教育を実施するという、この</p>
-----	---

	<p>2項目です。これを出されたということは、色々と問題があるかもしれませんが、進めていこうという一つの表れと考えております。公募につきましては、この協議結果に沿うものということで、進めるということをご理解願いたいと思っております。</p>
委 員	<p>やり方が違うのかなと思うなら、なぜしようとされるのですか。波賀はまだ時期が早いのではないかと、これだけ保護者の意見があり、自分も子育てしている中で不安があり、まだ早いと思っている意見を出しているのに、なぜ公募をしようとされるのですか。</p>
事務局	<p>やり方が違うというのは、市内でやり方が違うと言った訳で、公募ということについては、この協議結果に沿うものであると考えているということです。</p>
委 員	<p>協議結果のところで、こども園に対する不安があるから、進みたくても進めないで、その不安を解消していただけるような説明をして欲しい。公募を先にしてからというやり方もあるのではないかと言われますが、協議会になってしまったら、この委員会はなくなってしまいますので、不安に思っていることを、言えなくなってしまいます。</p>
会 長	<p>私の進め方が悪いのかもしれませんが、いずれ幼保一元化で施設を一つにせざるを得ない時が来ると思います。その時に、今幼稚園側はまだ早いのではないかと話もありますが、実際先程不安なところがたくさん出て、そういう意見を言うことによって、イメージができたり、こんな園がいいのではないかと話が出来ると思います。実施する時期は別として、一歩前に出て、実際にどんなことが不安なのか、何が足りないのかということを決めて行って、どういう認定こども園になればいいと見える形にできたらいと思います。まだ推進するのは早いという意見は、実施時期も決めてしまっているようなイメージがあるので、それはまた次の段階で決めるので、一歩前に出るといって皆さん同意いただければいいと思います。</p>
委 員	<p>前に出たいのですが、その辺の納得できる材料がまだ揃っていないので出られません。</p>
会 長	<p>その辺の意見を出してください。</p>
委 員	<p>その辺の意見を出そうと思っても、たたき台みたいな、明確に見えてくるプランがないので、やっぱり前に進まないのではないかと思います。</p>
副会長	<p>教育委員会の方針について、問題点を整理し解決に向けて協議をすることで、今、解決に向けて協議を行っている。前回は公募の話が出てしまったので、応募があった時に誰が判断をするのかという話をした。山崎は公募して応募があった方を審査するところが必要で、波賀もそういう風</p>

	<p>にしたいところだけでも、チェックをした時に、この方はコンプライアンスも含めてここが不適合ということを誰が言うのかという話で、教育委員会が一般の人の意見を聞いて、この点がダメなので応募の資格がありませんと言えるか言えないかという話です。それで的確な応募者がなければ公立でしますということになる。</p>
事務局	<p>そういうことです。選定委員会の要項の中に、選定基準というものがありまして、ガイドラインに基づいた幼児教育、保育を実施すること。また、市が作った施設を利用していただくことから、市の職員を受け入れるというところまで書いてあります。そういうことを運営法人が認めて受け入れるかということも基準の一つにあります。また、地域で求められている保育に、柔軟且つ速やかに対応できること。また、幼稚園の理念を基に公共性、公益性を有するという、また安定性ということも含めて、最終的に教育委員会が決定するということです。</p>
副会長	<p>それは前にも話したように、安全、安定だけでも、そこに対する信頼が担保できるかどうか、地域の意見をどう解決し、信頼性はどのようにチェックをかけるのか。教育委員会があなたはダメですとレッドカードを出せるか出せないかの問題です。</p>
事務局	<p>今、副会長が言われたとおり、最終的にダメだということになれば、教育委員会でダメだと出します。あくまで民でやれることは民でやるということが原則なのですが、どんな民でも守る必要はなく、やはり市で持っている最低のライン、皆さんからの要望について、無理難題を受け入れて欲しいではなく、最低の公の標準のレベルで考えて、これをやってもらわないと困るということを受け入れないというところについては、守る必要はないということは考えております。そういうところは、市の責任で果たすべきだという風に考えております。</p>
副会長	<p>極端に言えば、こども園ができれば、道谷の一番奥で保育が必要な子どもが居るとして、嫌な顔をせず、冬でもきちんと笑顔で送り迎えをしてくれるか、してくれないかみたいなような話で、今、現状はそうではない。コストを考えたら、バスを廃止したり、公立であれば1人でも2人でも、笑顔で隅々まで送迎してくれる。それが公立の良い所で、信頼関係で来てもらえるかももらえないかということになる。</p>
事務局	<p>今、子どもの送迎のことも出ましたが、それにつきましてもこれからの協議になりますが、新しく作っていく認定こども園について、千種の協議の中でも送迎はするという要望により、協議で決まったので、幼稚園は送迎をしていなかったけれど、新しい認定こども園では送迎をしています。ですから、今、言われたような意見も、民間であれば送迎を止めることがあ</p>

副会長	<p>っても、市が認めた認定こども園で送迎はすることを条件として、千種と同じように波賀でできる認定こども園でも送迎はすると約束ができます。今言ったのは一つの例ですが、そういうことも一つ一つ色々なことを出しながら、クリアして行って、初めてお互いが向き合って前に進めると思う。恐らく、何回話し合っても、今の意見でキャッチボールをしていたらどうにもならない。色々意見はあるとは思いますが、いつまでたっても話が進まないの、教育委員会の肩を持つ訳ではないが、みんなで話し合っ、進めていく方向で英知を出してもらいたい。</p>
事務局	<p>先程のご質問の中で、委員会が解散したらどこで意見を言うのかということがありましたが、千種の例でご紹介をさせていただきますと、千種でも色々紆余曲折があっ、みんなで考えてみようということで協議会が立ち上がった訳ですが、その協議は2年間かかりました。部会として総務部会と幼児教育・保育部会と環境整備部会3つの部会を作っていました。環境整備の中では、園舎の間取りのことや通園方法、通園バスの運行方法もそうでした。幼児教育・保育部会では、参観日の調整やプログラム、どういう子どもをどう育てていくか、幼稚園の教育課程、保育園の保育課程のすり合わせに、県立大学の先生にも参加いただいて、専門家も招いて一緒に作り上げる。その中には幼稚園の代表、保育園の代表ということで、今、委員会では3名ずつ出していますが、3つの部会を構えるということになると、人数が足りませんので、もう少したくさんの方、実際に子育て世代の方にも参加いただいて、一つの例を挙げさせていただきますと、通園バスの話が出たので、通園手段の確保のところ、バスを出して千種町内隈なく、例え自治会で1人の家があっても、バスで送迎しますということは基本ですが、逆に園に近い所の保護者の方からは、小学生が手を繋いで連れて行ってくれるという歴史があるので、それを残して欲しいという意見もあったので、それでは残しましょうと保護者の意見を聞いて、通園バスはいつでも乗れる状態ですが、隣に千種小学校があるので、小学生が連れてくるという園児もいます。また、こども園の開園時間についても、早朝保育、延長保育といえ、何時から始まって何時までということは、みなさんの意見を聞いて、協議の中で決めてきたという経緯があり、ここで申し上げますのは、今の社会福祉法人にそのままお願いするのではなく、千種で決まったことをここへ持ってきて、そのままここでやるのではなく、ゼロベースから波賀町のこの地域に合った、オリジナルのこども園が作れるのではないかと考えていますので、協議会に移った段階で、時間をかけて協議をしていただければと思います。また、協議会には地域の参加という重みがあり、それに沿った形で応えていくという</p>

	<p>ことが必要になってきます。その部分は、教育委員会が責任を持って社会福祉法人と連携をしていくことと理解をしていますので、みなさんの意見を反映できると考えています。本当に大変な作業だと思うのですが、2年間で50回程度の議事録もありますので、場合によってはみなさんに見ていただくこともいいと思います。</p>
委員	<p>公募なのですが、応募された方をこの場に連れてきていただいて、皆さんの見えないという意見について、それは第三者なので見えないと思います。やはり先生と現場の人間を連れてきて、保護者の方の同意が得られれば、教育委員会が認めるということはいかがでしょうか。話を前に進めるには、そういう公募スタイルもありだと思っております。</p>
委員	<p>決まってから話し合うのではなく、協議会までに、幼稚園側、保育園側でそれぞれ不安な部分があると思うので、それまでに色々出して、それで、こういう風にしてもらいたいという条件として公募をして、応募者が決まればいいと思います。</p>
委員	<p>順序が逆のような気がします。先に公募をしてしまってからではなく、教育委員会から波賀町のこども園はこういう感じにしたいというのを出していただいて、それを基にみんなでこの場で話し合っ、この条件を飲んでくれる園を公募しようということで、初めて公募ではないかと思っております。やはりまだ見えてこない段階で、相手だけ選んで、それから話を詰めて行くのでは、問題が浮上してそれが出来ないとなった時に、ではダメですとはいかないと思うので、順序が逆ではないかと思っております。</p>
事務局	<p>ということは、最初から言われているように、全ての問題点を解決してからではないと、公募に進めないということですか。それは不可能だと思います。</p>
委員	<p>そこまでは言っていないんですが、教育委員会として宍粟市を良くするために進めたいと思われているのであれば、それなりの保護者が納得できるようなものを出していただければ、私達も保護者の方に説明もできますし、保護者の方も不安な部分を出し合っ、ここをこういう風にして欲しいという意見を聞いてこの場に来られるので、保育園もそうだと思うのですが、それでこの場でだいたいのビジョンというか、そういうのができないと、私達はこれだけの資料では、お願いしますと前には進めないと思います。</p>
事務局	<p>公募というのは、そういうものではないと思います。誰が手を挙げるのかは分からないので、公募をしないことには前に行かないということがあります。そうでないと、その方と話をして幼稚園や保育園の保護者が、あなたはダメですと苦情だけ言われて終わりでは、相手に気の毒になるし、どこが手を挙げるかは分からないが、やはり手を挙げてもらって、それから</p>

というのが筋だと思います。どう考えても、この資料を見てもらえば、絶対に少なくなることは分かっておられると思うし、このままではいけないと皆さんは理解されていると思います。幼児教育にしても学校教育にしても、勉強を学ぶことも大事ですが、適切な集団の中で社会性を身につけるのは、非常に大きな教育の目的だと思っています。野尻幼稚園が3人だったことが、丁寧な教育をしてもらえるし、とてもいいことです。そのことを否定する訳ではないですが、適切な人数の中で子ども達が、泣いたり、痛がったり、悲しんだりしながら学ぶことが、人をつくる社会性を身につけるとしています。そういう意味で、今から先にこれだけ少なくなる、3年後には波賀の3,4,5歳児が38人、今の状態で行けば、転勤や転校する子が居ればもっと減ります。10人が適切かどうかは別として、これだけの人数になっていく中で、このまま放っておけるのかとすごく思うのです。先程、公募の話も出ているので、公募をまずして、応募してきたところについて、選定委員会もありますし、委員会の方にも来てもらって、一緒に話をするというのが協議会なのです。千種でも協議会で色々と嫌なことを言われるので、どれだけ腹が立った事かと聞いていますが、お互いがいいものを作ろうとして意見を出し合う訳なので、その中で意見を闘わせ、2年で五十数回もかかりましたが、嫌なことも互いに言い合いながらも子どものためにいいものを作ろうという、その1点に趣を置いて話し合いになっていく訳ですから、その中で、皆さんの意見を聞いてもらえないとか、要望が通らないということになれば、応募された方も、辞退せざるを得ないということもあります。この文書で、「一元化は推進すべきである」という風に、前の委員会で決めていただいたと理解していますし、市長もそのように理解をしたので、2番目の要望である3歳児教育を早期にすべきであるということで、波賀町に3歳児の学級を設けて3歳児教育をしたと、私は理解をしています。当然、そういう希望もある部分では叶えたことですし、皆さんもこういう風に文書に書いていただいた以上は、推進すべきであるという、そこに立っていただいて次に歩んでいただかないと、何も前に行かないのです。それで、協議会は恐らく同じようなメンバーになると思うので、協議会になって、今言われているようなことを伝えていただいて、より良い、波賀に唯一の幼児教育、保育をする素晴らしいものを作って行こうという視点に立っていただきたいと思います。そして、最終的には何があっても市が面倒を見ますので、先程のバスにしても、子どもが少なくなっても、絶対に面倒を見ると公言している訳ですので、こども園に勤めていただく先生方の給与についても、我々がきっちり管理していくということもできる訳です。最終的には絶対に市が責任を持

	<p>ちます。その為に要望を出し合う会を、まずスタートしてもらわないと、前に行かない。このままでは、また第1回から10回までの委員会と同じことを繰り返して、2年、3年と過ぎる内に、協議会が始まって2年から3年はかかるので、そこで設計して建築するとなれば、私の素人目で見ても5年はかかると思います。これから生まれて来る子、本当にまだおっぱいを飲んでいるような子が、どう育っていくかという視点で考えていただきたい。そして、こども園になれば、保育所の分だけでいい、幼稚園の分だけでいいということが選べる訳です。千種を見られて不満だったことは、ここで教室の配置を変える等をしてもらえば、保護者が寝ている子の邪魔にならずに、安心して話ができるという風に、その場その場で感じられたことを、これからもまた見ていただくのではないかと思います。そこを直していくように、市も責任を持ちますし、皆さんの意見も思いっきり受け入れながら進み、千種でもそのようにしたので、絶対にできと思っています。私の言葉を信じてもらえるかどうかは別にして、一步進んでももらわないと、また同じことを何回も何回も何年も繰り返すことになることだけは、本当に幼い子どものために避けてやって欲しいということは、私の要望も含めて言わせていただきました。</p>
<p>会 長</p>	<p>先程、公募の話も出たのですが、ある程度の姿が見えてから、それを踏まえて公募をしたらいいという意見と、ある程度姿を見せるために相手が分かった方が、姿が見えやすいという意見もあったと思います。それで、話す機会は、まだたくさんあると思います。千種でも協議会が2年行われています。それが波賀の場合、2年で済むのか、3年かかるのか、1年で終わるのか、それは皆さん次第ですので、皆さんが同意するまで前に行かないので、その期間は協議に入らないと分かりませんが、一定の方向を決めてどうするのかと先に進まないとい何もできない。たぶん色々な心配事がたくさんあると思います。でもそれは、一步出ることによって心配事も見えやすくなるし、後ろ向きの心配ではなくて、踏み出さないといけない時期に来ているのかなと思います。それで、公募の方ですが、実際に面と向かっては、なかなかやりにくいかも知れませんが、やり方はまた色々あると思います。それで先程、回答がなかったですが、なかなか決まらない中で、市内一斉の公募ができないということになっていけば、市が思っている幼保一元化を推進することに相当影響するのではないかと、波賀が担っていることが原因になることもあろうかと思われる。その辺りのことを教育委員会に確認したいのですが。</p>
<p>委 員 事務局</p>	<p>子どもの適正人数と仰っていましたが、その基準は何なのでしょう。市内で幼保一元化が始まった頃にアンケートを取られた時に、小学校では</p>

委員	<p>20人から30人ぐらいが適正規模だという結果であった。それで、幼稚園は20人から25人ぐらいだったと思います。</p> <p>今、子どもを幼稚園に預けているのですが、私の子どものクラスは10人で、10人に対して先生は1人でみてもらっているのですが、先生一人できっちりと隅々まで目が行き届く人数はそれぐらいだと思います。例えば25人の子どもを先生が一人でみて、その辺のことはどうですか。</p>
事務局	<p>改めまして、市内でのアンケートでは、幼稚園は25人から30人が適正な規模だと保護者からいただいています。それで今10人と言われましたが、10人よりも8人、8人よりも6人の方が、目が行き届くことは分かっていますが、決まりがありまして、30人1クラスに対して先生は1人というのがあります。そんな中で言えば、少ないに越したことはないのですが、状況に応じて支援員を付けたり、加配を付けたりの対応はしています。</p>
委員	<p>少子化という話なのですが、このまま見切り発車してこども園が出来ても、これから先、波賀に人口が増えるとは思えないのです。だから本当に練って練っていいものを作って、波賀にはこんないいこども園があるという風になって、同じように宍粟市内にできたとしても、波賀の特色を活かしたような、特別な、そういうこども園ができないと、出ている人は帰ってこないと思います。だからこうやって慎重にやっているところもあって、幼稚園の保護者もこの先人数が減っていくということは、私達も説明してみんな知っておられるのですが、それよりも納得するようなものを作ってもらわないと、本当にこの先人口が減る一方ではないかということもあって、今作りたと言われるのが、目に見える形で、安心できるということがないと、幼稚園側としては、先に進むことができないと思っています。少子化ということはみんな分かっているのです。そのうえで目に見えないと納得できないということは、何回も保護者会を開いて確認しているので、それは知っておいていただきたいと思います。</p>
委員	<p>ちょっと疑問なのですが、市が責任を持ちますと言われましたが、こないだの7月26日の委員会で、8月1日から9月末までの間に公募をかけさせて欲しいと言われ、それで皆さんに、それは止めてくださいと反対されても、それでもしつとと言われて、でも実際8月1日が過ぎて、かかっていない訳ですよ。それで今、準備がしっかりできていなかったからと言われましたけど、それは、準備がしっかりできてなかったのに、あの場で公募しつと言われたのですか。それは無責任だと思います。</p>
事務局	<p>7月26日の委員会では、最終的なところは少し違うのかなと思います。色んな意見を聞いて、波賀では8月1日からの公募は難しいということと言</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>ったのですが。 波賀ではそうでしたけど、山崎や一宮はどうですか。 最初にも言ったように、選定方法とか、色んな意見を聞きまして、検討する時間が必要だったということで遅れたということです。</p>
<p>委員 事務局 委員 事務局</p>	<p>では、7月26日の時点で、皆さんが賛成していたら、公募していた訳ですよ。 そこで合意をもらっていれば公募しておりました。 準備ができていなかったのにはですか。 準備ができていなかったというのは、決定方法について、委員会で色々と不安があったということを知った結果、見直しましょうということで帰ったということです。</p>
<p>委員 事務局 会長</p>	<p>その言い方だと、やはりこちらに責任があるような感じですね。 そういうことではないです。 今日の意見では、認定こども園の姿をもっと見えるようにして欲しいということですが、どのような形を思い浮かべられているのかということが想像できませんが、見えるというのは枠組みなのか、中身がどの程度なのか、少し分かりにくいです。</p>
<p>委員</p>	<p>この資料だけでは、中身が分からないし、前回と変わっていないので、本当に波賀町のためを思ってこども園を作りたいという熱意があるなら、私達に伝えたい、こんな中身がいいことをするので、やった方がいいですよということを伝えて欲しいです。それが伝わってこないのが、始めのほうで言ったとおり、千種の資料に中身や、こういう活動をしているとか、そういうものから出していただければ、私達もそれを幼稚園に持ち帰って、こういうものを作ると仰っていますと説明もできるし、保護者の方にも前向きになってもらえる部分もあるかと思うのですが、それには材料が少ないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>今まで色んな意見が出たと思いますが、それらを一覧にして、市の思う対策やこういう方向にしますというような資料はできますか。ここで出た意見もありますし、これまで色々不安と言われたところが整理できればもう少し違って、分かりやすくなると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>平成26年9月25日に出された文書について、皆さんは一応理解をお願いしたい。反対の部分もあるけれど、文書が出されたのは、自治会のやむを得ない想いで出されているのです。連合自治会長の立場もあり、小学校が3校から1校になる中で、野原小学校が波賀小学校と一緒にいる時に、野尻幼稚園だけ残すということはできないし、野尻幼稚園が波賀幼稚園に来れば、もともと野尻幼稚園には3歳児保育があり、波賀幼稚園でも3歳児</p>

委員	<p>保育を完全実施するためにこの文書が出されたという経緯があります。1番と2番については、平成25年5月27日に確認したもので、3番については、協議するには時間がかかるということと、3歳児保育を完全実施のためにある程度根回しをしてこの文書が出ています。一つ気になるところは、委員会が凍結している間に出ている文書ということです。逆に言えば、凍結していたので相談することができなかったということです。会長と連合自治会と保護者の方との協議の中での文書ということです。そういうことでこの文書を認めていただきたい。それと、認定こども園が民に反対で、公立の認定こども園がいいという意見に対し、教育委員会では人数が少なくなってきたので公と民の2つは無理と言われる。一方幼稚園側では公立の幼稚園を守りたいということで、この委員会の中でも意見が出てきている。子どもが少なくなる中で、波賀幼稚園はそのまま行くという意見もありその辺りはどうでしょうか。あくまで突っ張ってしまうのか、ある程度歩み寄るのか、話し合える部分は、千種の協議会と、今度一宮北の協議会が始まりましたが、委員会の延長的な協議会でどんどん進めていくのかは、事務局の方から説明してもらいますが、協議会になっても話し合いはここと同じような感じで、恐らく千種が50回ならこちらは100回になるかもしれませんが、そのように進めていくという部分と、例の法人に対する批判がある中で、改善できるところは改善してもらい、極論も話し合わないといけない。民間といえども公立の幼稚園と同じような感じの認定こども園にしてもらうように、一つ一つ整理していかなければ、この文書に関わった者として、気になりますのでよろしくお願いします。</p> <p>僕も7回目から委員会に参加していますが、ずっと今まで疑問に思っていたのは、25年5月に凍結してから26年9月にこの文書が出され、先程説明されていましたが、委員会が凍結しているその間に、誰が確認したのが疑問です。教育長も市長と共にこれを受領しましたと言われましたが、本当にみんなで協議されたのかを、当時の委員さんに確認したいです。</p>
委員	<p>それができなかったのです。凍結している中で、委員を集めて全員に確認するということが。</p>
委員	<p>では、第6回までの委員会の結果ではないのではないですか。</p>
委員	<p>それまでの話をまとめたものがこれという訳です。</p>
委員	<p>ただそこで、この文書が出た中で、市の方針だと事務局側が言われるのを、みんなが理解していたのかどうか疑問です。市の方針が社会福祉法人だと分かっていたら、絶対みんながこの文書に合意していないはずで</p>
委員	<p>そこで3番の運営の協議で時間がかかるということで、1番の幼保一元化</p>

<p>委員</p>	<p>は社会福祉法人によるとは書いていない。</p> <p>その件に関しても、僕は去年まで幼稚園の会長をしていましたが、その中で話し合った結果、推進するかといえば、それはあくまでも仕方がないことという意見がずっと出ていたし、今年もそういう意見はありますが、それは将来的な話であって、それなら全然進まないと言われるますが、ここ2、3年でそんなことを決めていく話ではないと思います。昨年度が終わった時点で、もっとペースを落としてゆっくりとみんなで頭を冷やす時間があるって、ゆっくり話していったらいいのではないかということで終わったはずですが、それなのに、事務局の方が絶対に公募しますと言われるのなら、もっとゆっくりゆっくり話していてもいいのではないかと思います。この文書を認めて欲しいと言われるますが、すみません。僕は認めていません。その時の委員ではなかったのです。今、こうやって市の方針市の方針とそういう風に押されるのであれば、僕はこの文書を認めません。幼稚園側の意見としても、推進することは仕方がないという意見ではありますが、今の話ではないです。極論を言えば、このまま話を止めてもいいのではないかと、子どもが居なくなっても、幼稚園の保護者は、それでいいのではないかと話しています。</p>
<p>会長</p>	<p>それぞれ想いはあると思いますが、これから生まれてくる子や、今から家庭に入って働こうとしている親とか、今なら幼稚園か保育園かということになります。その人達にとってこれから何が必要なのか、幼稚園の立場では若い世代の中で協議して慎重に進めているのはよく分かります。それぞれの立場ではそうですが、波賀町全体を考えた時に、どういう幼児教育や保育が今後必要なのかという視点で考えてもらいたい。現実的な話ですが、市が方針として出しているのは、社会福祉法人で、応募がなければ公立でやるというストーリーが決まっています。その中でこの地域として、既に社会福祉法人が保育園をされていて、その方が今後公募する中で、私がやりますということになれば、当然資格があるかないかという中で決められると思います。そういう形がある程度見えている中で、実際、どういう認定こども園を望むのか、どういう形にして欲しいのか。先程、副会長も言われましたが、安全安心ということで、園が一つになりますので、もっともっと地域に開かれた園運営ができるようなものになっていかなければいけません。それは、委員さんがそういうものに向けて意見を出して、どういう形を作っていくか、心配事ばかりでは、何も解決していかないので、これから将来的には、一つにならざるを得ないのではないかと、幼稚園の方も認めておられると思いますが、その時期がいつかということは、今からの協議次第だと思います。そういう視点でそれぞれ話し合っている</p>

事務局	<p>のですが、もっともっと意見を出して、どんな形の園がいいのか、そんな形に進んだらいいなと私は感じております。もう一度確認しますが、公募というのは、ある程度委員会の方向がないと進まないという認識でいいのか、それとも進めるうえでは公募までいかなくても、希望があるかを聞いて、あればその方も入って考えて行こうという段階に進むのか、進め方は色々あると思います。難しいですが確認ができればと思います。</p> <p>方向としましては、先程から説明していますように、市内一斉で公募して出てきた方を選定委員会で判定することになりますが、波賀の場合は、そこまですれば決まってしまうということで、意向をこの場で決めるという方向で運営法人の意見を聞きたいということであれば、検討させていただきますが、波賀のような方法で、公募に切り替えるかということも含めて、考えないといけないと思います。</p>
委員	<p>前回も最終的に波賀だけ公募は見送ることになって、結局どこも止まりましたよね。今回も、今みたいに、波賀だけ特別対応はできませんよね。止めるなら、公募はまだまだ見送るという形になるのかなと思うのですが。</p>
事務局	<p>幼保一元化で市内の推進としては、同じようなレベルで行きたいと思っていますので、今日、波賀の公募の承諾をいただきましたかったのですが、それが難しいということになれば、今後、もう一度考えなければいけなくなります。</p>
委員	<p>話が元に戻るようですが、前自治会長からは、前会長が出された委員会の経過の中で、委員も事務局も言われたように、このことで中身が進んでいくものと思っていましたが、先程も委員の方から、認められていないという意見が出ていましたが、これを基に委員会を進めていくのではないのですか。</p>
事務局	<p>当然、市の方ではこれをもって、3歳児教育を始めました。ということは、運営法人も含めて、ある程度方向が決まったものとして、それから再開したと思っています。</p>
委員	<p>そうですね。その中の幼稚園のPTAの方の話や色々な話の中で、3番目のちょっと踏み込んだところで、形態の問題点を整理に向けて協議していくその中身だと思っていたのですが、そうではないのですか。今、元に戻ってこの文書を認めないという意見があったので、私は初めて参加させてもらって何も分からないのですが、基本的には、これを基に資料を見せてもらって、やむを得ないのではないかと思います。卵が先か、鶏が先かというような話になっていますが、私は統合をしてもらった方がいいと思います。その中で結論を一つ見出して協議していく方向で行かないと、先程の話では永遠に話が付かない。私も、引原小学校が野原小学校になり、今</p>

事務局	<p>は波賀小になる過程を見てきたが、子どもはやはり、ある程度の人数の中で育てるべきだと、私は思います。それが、幼稚園がいいか保育園がいいか、どちらかということになりますが、現状として、将来的に市が進める認定こども園がいいとすれば、これで進めてもらえばいいのではないかと思います。こういう問題は、会長が言われたようになかなか決まらないと思います。それで、一つの叩き台として公募は公募であってもいいのではないかと思います。それで応募があるかないかも分からないし、決まるか決まらないかも分からない。その中身については、応募を受けて決めたらいいのではないのでしょうか。</p> <p>そのとおりです。公募して、法人の運営方針を色々と聞きながら決定して行くということです。</p>
委員	<p>先程、山崎のみりの話も出ましたが、地域の父兄の話を聞くと、募集してもすぐに定員が一杯になるようなところだし、地域から見たら認定こども園になったらいいという意見も聞いています。だから、それがいいとか悪いとかではなく、やはり今からそういう方向で進めて、中身については、PTAや父兄で、そういう中で協議会を作ってもらって運営形態は決めてもらうという方向が一番いいのではないかと思います。</p>
委員	<p>公募に対して、今までも今回に対しても、不安があるということで、納得できないと言っています。</p>
委員	<p>分かります。しかし、先程言われた、PTAとしては延びて、なくなってもいいということは、この議論の場で言うべきではない。先延ばししたらいいという考えでしょ PTA の代表として。それはよくないと思う。</p>
委員	<p>正直なところ、今 PTA ではなく、子どもも幼稚園を抜け、この問題から抜け出した保護者でもあります。</p>
委員	<p>それなら、そういうことをこの議論の中で言うべきではない。その議論をするためにこの委員会に出ていると思っています。</p>
副会長	<p>今までのいきさつというより、この委員会の中で交わることがないので、教育委員会は抜きとして、自分達でこういうことをこう考えたいということを一回やってみて、会長が言われたように、前に進めて行くための協議をみんなでやってみてはどうか。教育委員会とキャッチボールをしても交わるところがなく平行線なので、恐らく幼稚園の PTA にしても色々と思いがあろうと思うけれど、それはそれとして、真摯に前向きに考えて、教育委員会から思うデータが出てこないのなら、こちらから出して、それを乗り越えてもらえるようなことを考えてはどうかと思う。</p>
委員	<p>先程途中で言いましたが、公募を先にするのではなく、ある程度の内容を、幼稚園の PTA も、保育園や地域の方も交えて、理想的な内容を決め</p>

会 長	て、それを確実に実施してもらえような運営法人を募集するのであれば、それも一つの手かなという話もありました。
事務局 会 長	先程も言いましたが、これから先に、いよいよ始めるとなれば、協議会に移りますが、その期間は定めがないのですか。 実施時期を目標に、その間ということです。
委 員 会 長	言われることは分かりますが、今から協議をして、そういう形を作っていく期間はいくらでもあります。一步出ないことには、そこにたどり着かないので、今、心配事はたくさんあると思いますが、理想がどんな姿かと言ってもらいたいのです。
副会長	それを話し合いたいと言っている。その方法を提案したのに、教育委員会が「それは無理です」と言われた。それでは話になりません。 その提案というのは、今までずっと話してきているが、それは公立の話でほとんどが終わっている。それを無理というのは、市が示す形と違うので、それを出すならいつまでたっても前に進めないのです、そこをどう一步出るかということになる。そこで公募の話もあって、次に進むには相手があった方が分かりやすいのではないかというやり方もあるということです。公募については、教育委員会が大きなリスクを負います。
事務局	公募について、教育委員会が協議会を立てて選定をされるにあたり、我々の目線と教育委員会の目線とが違っていたらダメだということです。我々の目線でちゃんと選考をしてくださいということです。このまま行けば、それなりのチェックポイントがあつて、それをクリアしていたら通過すると思うが、それでは物足りないと思います。
事務局	地域の方から委員に出演いただきたいので、その時に、幼稚園の目線が必要ということになれば、幼稚園の方が出演いただけたらいいですし、地域の要望を踏まえたいと思っております。
会 長	先程、教育委員会が無理という発言がありましたが、今回公募にあたってこんなこども園を作りたいという想いは、平成 25 年 1 月に宍粟市認定こども園運営ガイドラインというものと、委員の発言の中にも少しありました、認定こども園における教育保育の質の向上充実のための仕組みを策定し、お示しさせていただいています。今日も資料がない状態で口頭説明をさせていただきましたが、市が考えるこども園のあり方というのは、この二つのもので説明させていただいていますので、できましたら、次回、時間を頂いてこの二つの内容をもう少し詳しく説明させていただけたらいいなと思いますが、いかがでしょうか。
会 長	ガイドラインや方針で、どんなものを作っていくかということが示されているのですが、なかなか読んで理解できるものではないのかなと思うの

委員	で、次回それを説明するという形でよろしいですか。
委員	平成 25 年に作られていて、実際それから千種ができていますので、その辺の課題とか成果も入れて欲しいと思います。
委員	この会議に出席させてもらうのが 2 回目で、ガイドラインなどを一切もらっていないので、口頭だけで言われても、全然分からないです。なので、次回の委員会の案内と一緒にガイドラインを前もっていただければ、目を通して来れるのでお願いしたいです。
事務局	一宮北と千種の協議会のスタートした協議事由が少し違っていたと思うのですが、そこはどうでしょうか。
会長	一宮は、この委員会を長い間しても、子ども達の利益につながらないので、まず一步踏み出して、協議会の中で議論し合おうということで、協議会が長引くかもしれませんが、そういうスタンスです。千種とは少し違います。
委員	議論が尽きないのですが、今回は、どういう形のものを目ざすのかということ、今日、それぞれ想いが見えたと思うので、もう少し上手に説明してください。公募については、もうやったらいいという意見もありますが、皆さんどうですか。公募してから意見を言うことはできても、断ることは難しいということもあり、今後進めていく中で、相手が見える方がやりやすい面もあるが、協議会に任せたということになればそれも手段かなと私は思っています。
委員	公募して上がってきてしまえば、色々な想いが言えないので、やはり不安な面をもう少し解消できるような話し合いにならないと、公募は難しいと思います。波賀町に関しては、他に 2 園や 3 園がある訳ではないので、なかなか面と向かって言えるかといえ、言えないのが現実なので、そういう不安もあると思います。だから、人数が少なくなっても幼稚園と保育園のまま残ってでも時間をかけたいと言われているのは、だらだら延ばしたいのではなくて、時間をかけて一宮北の流れや、山崎の方の流れを見ながら、考えて行きたいという想いが根底にあるのです。
会長	一步前進するのなら、周りを見て進むのか、自分が切り開くのか、それが一つの選択だと思うので、教育委員会の方をお願いしたいのは、どのような姿を想像するのかということをしかり見せてもらえれば、今度公募されて、相手が決まったとしても、それを基に色々と注文を付けられると思います。今なら相手が決まっても、なかなか注文が付けにくく、ぼやっとしているので、それをしかり作ってもらえれば、今回は違う議論になるのかなと思うので、よろしくお願いしたいと思います。
委員	先程、自分で切り開くのか、他のところを見て決めるのかと言われました

<p>会 長 委 員 会 長</p>	<p>が、僕らは、他のところを見たいです。山崎で地域の委員会が立ち上がっていない状況なのに、我々だけどんどん先に行くのはどうかと思います。千種はその方向で進んでいる訳ですから。千種だけでは状況は見えなかったという想いです。今の子ども達に、それだけの猶予があるのかどうかということも加味して考えて欲しい。</p>
<p>委 員</p>	<p>それを加味して、幼稚園が何年後には何人になるなどという話をしても、安心したものが作れる方がいいという風に、生まれたばかりの小さい子がいる人も言われていました。</p>
<p>会 長</p>	<p>千種はそういうものを作って行こうとしています。他を見て真似するのではなく、自分達のものを作って行こうとされています。その辺も視野に入れて考えて今後議論していただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、二人の意見を聞けば、また平成 26 年 9 月の幼保一元化は推進すべきであること自体をゼロに戻すような意見でした。実際にそこまで戻っているのかということをもう少し考えていただきたい。そこだけは、平成 26 年 9 月のその間に決められた委員と会長からの意見は出ていますので、これよりは戻らない、あくまでもやはり少子化というものは、悲しいかなもう見えている段階なので、やはり幼保一元化は進めるべきだと、この会で共通認識し、この協議結果は確認してもらわないと、今の意見では、いつまでも決まらないし、本当に 2 人や 3 人になってもいいとは、誰も思っておられないと思うので、その為にはある程度そういう協議をして、時期について来年にして欲しいとか、そういうことではないですが、早めに一歩進んでももらわないと、1 年経てば経つほど少子化は進んで行きますので、それはやはり望ましい教育とは思っていません。ですから、共通認識として押さえて、それから次回の委員会で、公募するまでに課題があるなら集まってくださいということは全然構いませんが、その点をもう一度確認していただきたいのと、次回、こういうことの答えを出してもらえれば、公募してもらってもいいですという、課題がまだ他にあるのであれば、今の内に意見を出してもらえれば、次回、一歩進めるかなと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>1 点目の幼保一元化は推進すべきであるということについて、一元化はやむを得ないという意見が多いとは思いますが、これについては、認めて、今後議題にしないようにしたいので決を採りたいと思います。推進すべきであるということについて、反対の人がありましたら挙手をお願いします。ないようですので、幼保一元化は推進すべきであるということで、今後協議を進めていく上では、運営形態についてのことになると思います。それで次回については、先程からも出ていますが、見える形の説明をして</p>

	欲しいということなので、こういう園にしたいという風に、教育委員会から分かりやすい説明をお願いしたいのと、これまで不安だという意見がたくさん出ていると思うのですが、それらについての対策や改善方法も整理してもらえれば、見えてくるのかなと思いますので、それは教育委員会の方はどうでしょうか。それによって次回開催時期も変わってくると思います。
事務局	今、形として具体的に持っていますのは、ガイドラインが最高のもので、それをより具体的に説明させていただくということで考えるしかないと思います。
会 長	千種の取り組みなどを盛り込んでもらえたら、もっと分かりやすいと思います。
事務局	教育委員会はガイドラインに基づいて、千種の認定こども園のことを加味しながら説明をしますが、幼稚園や保育園で集られることがあれば、どういところが不安なのか、具体的に教えてもらえれば、それにも具体的に対応することもできると思います。
会 長	こういうところが教えて欲しいということがあれば、FAXでも提出ください。
事務局	どんな形でも結構ですので、それを教えていただいた方が、より具体的に説明ができると思います。
事務局	今日出た意見については解答ができますが、それ以外にまだ不安なことがあると言われますが、不安と言われても分からないのです。ある程度具体的なことを出されたら、それに対して、こういう対応ができますと返すことができます。
会 長	千種の協議会の中でも不安な要素が出たようなことも交えてもらえたらいいのですが、難しいですか。
事務局	例えば、皆さんにアンケートのようなものを配らせていただき、不安に思われることを箇条書きで出していただいて、それを一つ一つ応えていくというというのはいかがでしょうか。
会 長	ある程度内容が分かっている人はそれが書けると思うのですが、何人か委員が代わられて、このことは聞いておいた方がいいということがあれば、付け加えてもらえればいいと思います。具体的な心配事の一つで、そんな例があればお願いします。
委 員	山崎には何箇所か保育園があり、手を挙げれば保護者は選ぶことができるのですか。地区が決まっているのですか。
事務局	それは今、ここでもそうです。波賀の子どもがひかり保育所に行くこともできますし、一宮の子どもがみどり保育園に来ることも可能です。

委員	波賀の場合は、1園しかないのでは、公募したらたぶん1園しか応募がないと思います。山崎から波賀へ来られることはないと思います。公募は山崎から来てもいいのですか。
事務局	山崎から来ることも可能です。
委員	事務局は1号認定か2号認定かを選ぶことができると言われてましたが、保護者の方は、こども園を選ぶということを、波賀の場合はできないので、本当に満足できるものを作って欲しいということが強い要望ではないかと思えます。
事務局	そのとおりだと思います。それに対してどういう具体的な不安があるのかを教えてもらい、恐らく次のステップになると思いますが、協議会で一つずつ潰していけばいいと思います。要望や希望があると言われても今はぼやっとなかなか分からないので、一つずつ言ってもらえるのは協議会であり、この地域の委員会では、大きな不安という部分を何か出してもらえればいいと思います。細かいところまでの話し合いは協議会になってからでいいと思います。
委員	選べないのが不安と言っています。
事務局	こども園の場合、幼稚園部は園区があります。
事務局	今の波賀の子どもの数からしたら、選べる環境を作ることは無理です。
委員	現に、子どもを抱えているお母さん方が寄って話をされた中で、3人や4人になるかもしれないけれど、選べないのが不安と言われています。教育委員会の方は、人数が多ければいいとばかり言われる。
委員	みんな不安といっても、口で言えない不安があるのです。書ける人は書いて、書けない人は何も書かなくていいのではないかと。
委員	人数が減るばかり言われるので、残念な気持ちになるのですが、市側は、波賀町に移住者が増えるとか、波賀町の人口が増えるようなことを考えてもらえれば嬉しいです。
委員	これから作るものなので、やはりこれをやれば人数がこれから増えるかもしれないというものを出示してもらいたいです。
事務局	是非そういうものを、皆さんと一緒に作らせていただきたい。
委員	そういう情熱みたいなものを伝えてもらえばいいのですが、人数が減るばかりで、私は姫路から引っ越して来ましたが、すごく残念なところに引っ越してきたのかなという気持ちになってしまいます。
会長	その件については、タウンミーティングでも意見を言ってもらえればいいと思います。
委員	市の方に聞きたいのですが、幼稚園と保育園の就園状況について、幼稚園の方が少ないのは何故だと思われませんか。

事務局	これは、波賀に限ったことではなく、宍粟市内全ての校区で言えることなのですが、やはり女性の社会進出ということで、お父さんもお母さんも働かれている家庭は、保育園に子どもを預けないと働けないということが、現状としてあると思います。
委員	そうすると、保育園の関係の方については、現状として、認定こども園はその方向で進めてもらいたいと受け取ってもいい訳ですよ。
委員	我々にはそれしか選択肢がないです。
委員	保育園としては助かります。ただ、保育園に対して、いいところもあれば、もう少し変えて欲しいというところもあります。
委員	そうだと思います。それで幼稚園の PTA が言われる部分と、保育園の良いところ悪いところをこの中で協議していけばいいのではないかと思います。
会長	いいものを作っていくために、保育園のままではなくて、認定こども園という新しい施設を作るということで理解をしていただければありがたいです。
事務局	一つだけ、タウンミーティングのことを言うていただきましたが、この文書が出たのが平成 26 年 9 月 25 日でした。その後、10 月に波賀地区の懇談会がありました。その場で、当時のお母さん方が、3 歳児教育をして欲しいということで、たくさん来られていました。それで、この文書を市長が見て、幼保一元化は推進すべきだという方向性を決めていただき、一元化をするまでに期間があるので、3 歳児教育も希望どおりにしましょうとなり、保護者の方が手を叩いて喜ばれた姿を、私ははっきり覚えています。一元化がなぜ進まないのかといつも怒られるのですが、そこがスタートだったということを思っただいて、タウンミーティングで何を言うていただいてもいいですが、そこから進めて欲しいと思います。
副会長	タウンミーティングで問題提起しようとしているのは、それではなく、声を出して、人が住めるようにして欲しいということ、首長をはじめ行政にお願いしますということです。
会長	人口増に向けての話だったので、タウンミーティングで発言して欲しいと言った訳です。先程、幼保一元化は推進すべきということを確認しましたので、公募については次回以降ということにしたいと思います。
委員	公募についての時期はどうなるのでしょうか。
会長	それはまだ、波賀の話が決まるまではできません。
委員	共通理解でよろしいですか。
会長	市内一斉の公募は、もう少し延びるということになります。
事務局	はい。そういうことです。

委員 会長 副会長	<p>分かりました。</p> <p>次回ですが、11月24日の19時30分からお願いします。</p> <p>今回は、教育委員会の想いが分かってもらえるようなプレゼンテーションをしてもらえたらありがたいです。そして、一元化を進めて行くという前提で考えてください。公募をするまでに自分達の想いを伝えて、どういう風に受け入れてもらえるかということで、後戻りしないようにお願いします。お疲れさまでした。</p>
-----------------	---